

【小論文】

交流協定校(中国語圏)派遣留学選考試験過去問題(2023～2025 年度派遣)

●2025 年度派遣の出題

中国は、2014年に「反スパイ法」を制定し、2023年4月には「スパイ活動」への対策を強化する改訂を行うなど、「国家安全」に危害を及ぼす行為への対策を強化している。法律に違反したとみなされると、取調べや長期間の身体拘束を余儀なくされたり、懲役などの重い刑罰を科されたりするおそれがある。こうした背景から、2024年7月現在、アメリカ政府は、法律の恣意的な適用による不当な拘留の危険があると判断して、中国渡航について「レベル3：渡航を再考してください」と位置付けている（*アメリカ政府は、海外渡航について、4つのレベルに分類している。すなわち、「レベル1：通常の注意を払ってください」、「レベル2：一層の注意を払ってください」、「レベル3：渡航を再考してください」、「レベル4：渡航を止めてください」）同様に、カナダ政府とオーストラリア政府は、中国渡航について、「レベル2：細心の注意を払ってください」と位置付けている。

では、具体的に、どのような行為が、中国の「国家安全」に危害を及ぼす行為とみなされるのか、予測していくつか述べなさい。

●2024 年度派遣の出題

近年、日本では食品ロスを減らす取り組みが行われているが、中国でも2021年に「反食品浪費法」が可決され、食品を過度に残さないよう促す法律が施行された。このことが中国の社会、経済、政治、文化等に与える影響について、あなたの考えるところを述べなさい。

●2023 年度派遣の出題

現在では、多くの人々がFACEBOOK、TWITTER、INSTAGRAM等のSNSを駆使するようになってきているが、このことが中国語学習に与える影響(メリット・デメリット両方を含む)について、あなた自身の経験も踏まえて思うところを述べなさい。